



2015年7月31日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 横田 浩  
(コード番号 4043 東証1部)  
問合せ先 経営企画室 広報・IRグループリーダー 小林 太郎  
(TEL 03-6205-4832)

## 中期経営計画 2017 策定に関するお知らせ

当社は、2015年度から2017年度までの新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」を策定しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 前計画の総括と新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」

2012年5月に「成長を加速する進化」をキーワードとした3ヵ年計画を策定し、成長を加速する仕組みの構築、課題に取り組んでまいりました。成長戦略としていくつかの施策を推進してまいりましたが、その中の「戦略的成長事業の強化」に掲げた主要テーマであるトクヤママレーシアでの多結晶シリコン事業の拡大、及び新規事業の創出につきましては、予定した成果を上げるには至りませんでした。

このような状況の下、新経営体制は、足元の事業に立ち戻り、その潜在的競争力、発展性を再評価し「事業収益力の強化」を事業運営の基本的方針とする、新3ヵ年計画「中期経営計画 2017」を策定しました。「中期経営計画 2017」では顧客起点を旨とし、徳山製造所をはじめとした現有資産の徹底活用と投資抑制による生産性向上、原価低減を推進し、事業収益力の強化を図りつつ、トクヤママレーシアの黒字化、財務基盤の再建を図り、本年からの3ヵ年を「トクヤマグループ再生の礎」と位置づけました。

本計画に掲げる最重点課題を着実に達成することにより、「トクヤマグループ再生の礎となす」3ヵ年で、株主の皆様をはじめとする、ステークホルダーの皆様からの信頼を回復してまいります。

## 2. 計画の概要

### 1) 期間

2015年4月1日～2018年3月31日

### 2) 最重点課題と施策

#### ①事業収益力の強化

##### ■資産の徹底活用

- ・徳山製造所の競争力強化
- ・コーポレート開発から「事業にコミットした研究開発」へのシフト
- ・本社間接部門のスリム化・移転

##### ■顧客起点による成長

- ・コア技術を省エネ・環境・ヘルスケアの重点分野に活かした製品開発
- ・他社とのアライアンスも含めたマーケティングによる事業拡大

#### ②トクヤママレーシアの2017年度黒字化

本年秋の定期修理においてフル稼働体制を確立し、2017年度の通年黒字化を目指す

#### ③財務基盤の再建

- ・既存事業の収益力強化による事業利益増と資産売却による純資産の早期回復
- ・有利子負債削減

### 3) 最終年度達成目標

売上高	:	3,350 億円
営業利益	:	340 億円
営業利益率	:	10 %
有利子負債	:	1,000 億円削減

### 4) 前提

為替レート：115 円／US\$

国産ナフサ：46,000 円／kℓ

以上

# 中期経営計画2017

1. 計画の概要
2. 事業収益力の強化
3. トクヤママレーシアの黒字化
4. 財務基盤の再建



# 1. 計画の概要

## 中期経営計画2017の基本方針

顧客起点を旨とする「事業収益力の強化」、  
「トクヤママレーシアの黒字化」、  
「財務基盤の再建」を達成し、  
トクヤマグループ再生の礎とする

期間： 2015年度～2017年度  
(2015年4月1日～2018年3月31日)

# 1. 計画の概要

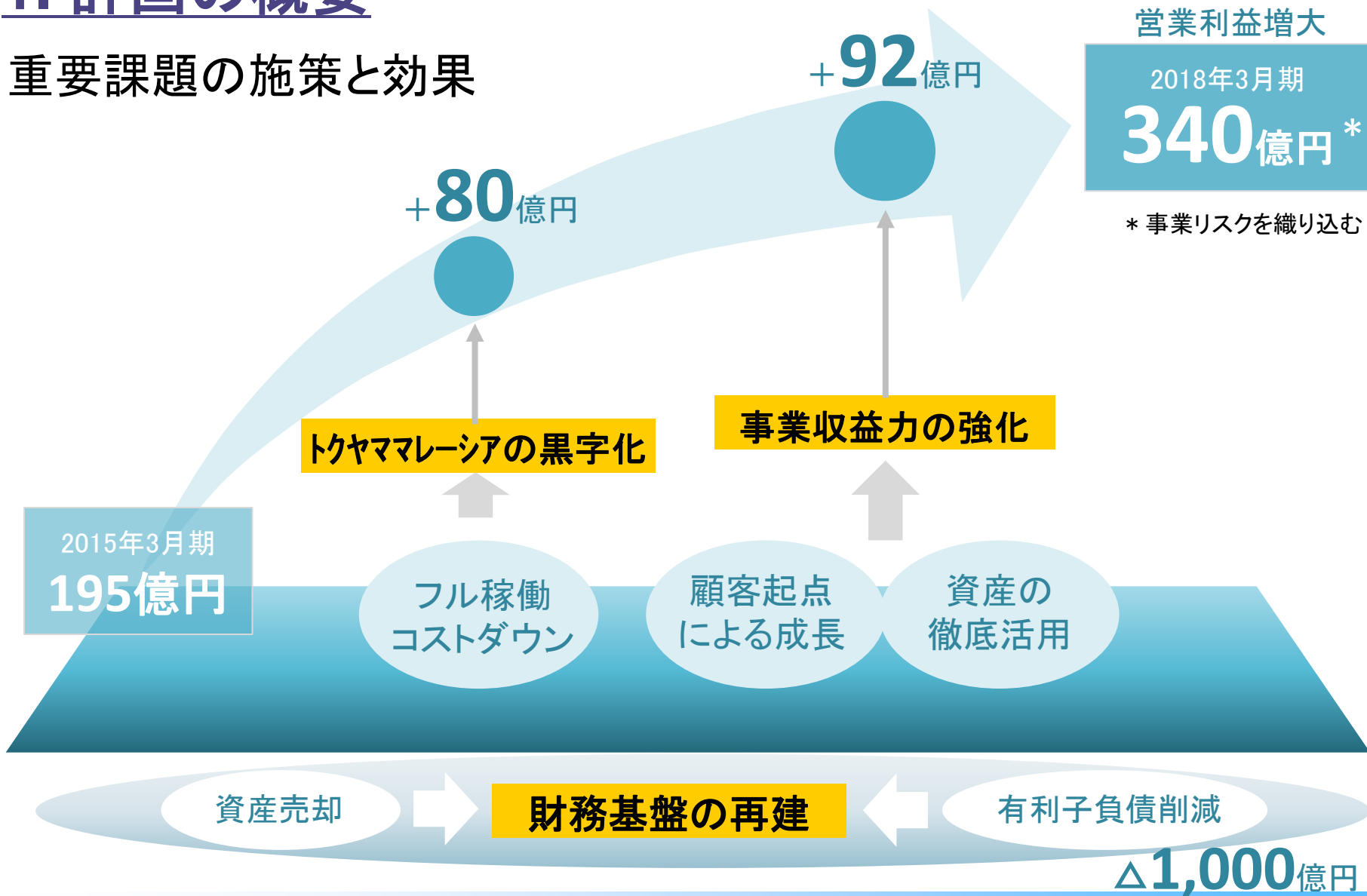
## 経営指標(連結)

	2015年3月期実績	2018年3月期計画
売上高	3,020億円	<b>3,350</b> 億円
営業利益	195億円	<b>340</b> 億円
営業利益率	6.5%	<b>10</b> %
有利子負債残高	2,831億円	<b>1,800</b> 億円

為替(円/\$)	110	115
国産ナフサ(円/kℓ)	63,500	46,000

# 1. 計画の概要

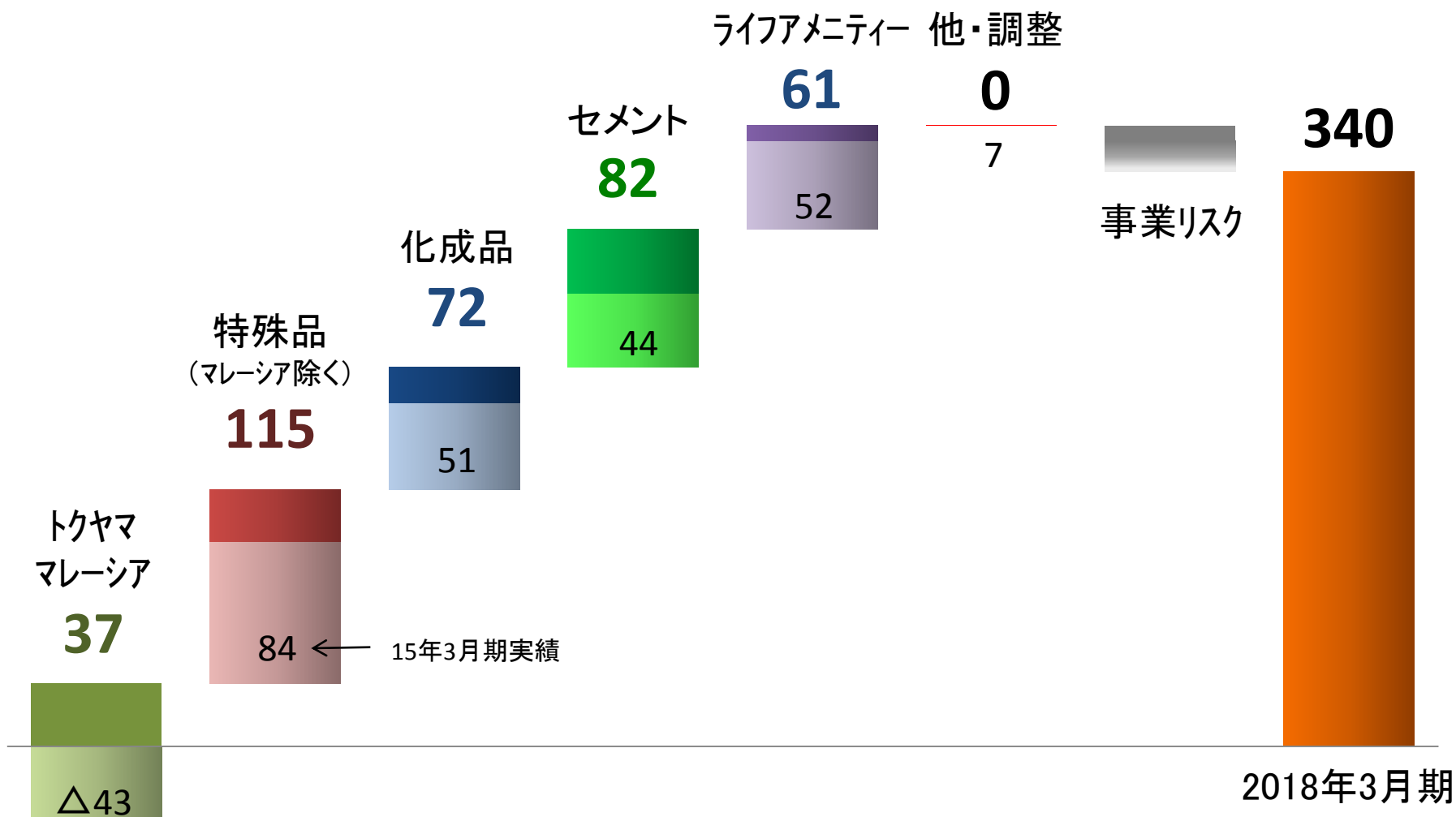
## 重要課題の施策と効果



# 1. 計画の概要

## セグメント別営業利益(2018年3月期計画)

(億円)



## 2. 事業収益力の強化

### (1) 資産の徹底活用

#### 徳山製造所の強化

##### 強みを持つ資産の 徹底活用・強化

- 半導体用多結晶シリコン増産
- セメントキルン再稼働

研究開発戦略の転換  
(事業戦略と整合した開発)

- 港湾インフラの活用
- 物流最適化
- 設備技術の強化

##### 強みを伸ばす 合理化・再構築

- 塩ビ樹脂事業集約
- ソーダ灰・塩カル事業  
統合効果促進

本社間接部門のスリム化

貴重・希少・既存を活かす



## 2. 事業収益力の強化

### (2) 顧客起点による成長

模倣・代替を許さないコア技術

無機  
ファイン

有機  
ファイン

アライアンスも活用

環境

廃石膏ボードリサイクル事業  
社会インフラ補修材料  
液化水素事業

ヘルスケア

微多孔質フィルム  
新規小型ガスセンサ  
歯科材料  
医薬品原薬  
メガネレンズ用フォトクロミック材料

省エネ

高機能乾式シリカ  
新規放熱材料  
樹脂サッシ

事業にコミットした研究開発






### 3. トクヤママレーシアの黒字化

計画値

(億円)

		15/3	16/3(予想)	18/3(計画)
トクヤママレーシア 単体	売上高	43	96	260
	営業利益	△43	△112	37

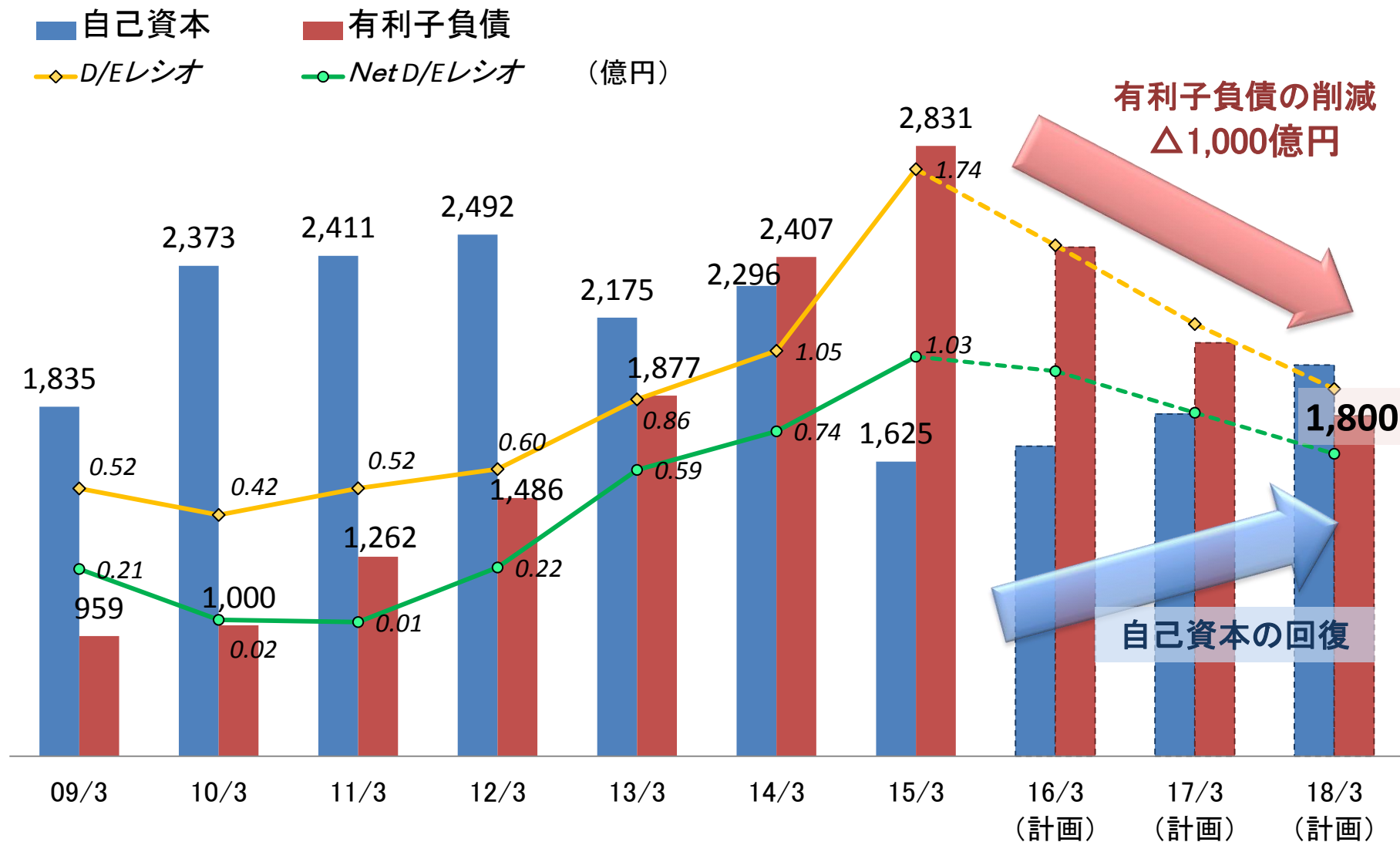
### スケジュール

		2015年度(16/3)	2016年度(17/3)	2017年度(18/3)
 <p>トクヤママレーシア (太陽電池向け多結晶シリコン)</p>	P S 1	 有効活用策を検討		
	P S 2	 15年10月～定修、 フル生産体制確立	 コストダウンを実施 単月黒字化達成	 通期黒字化 達成

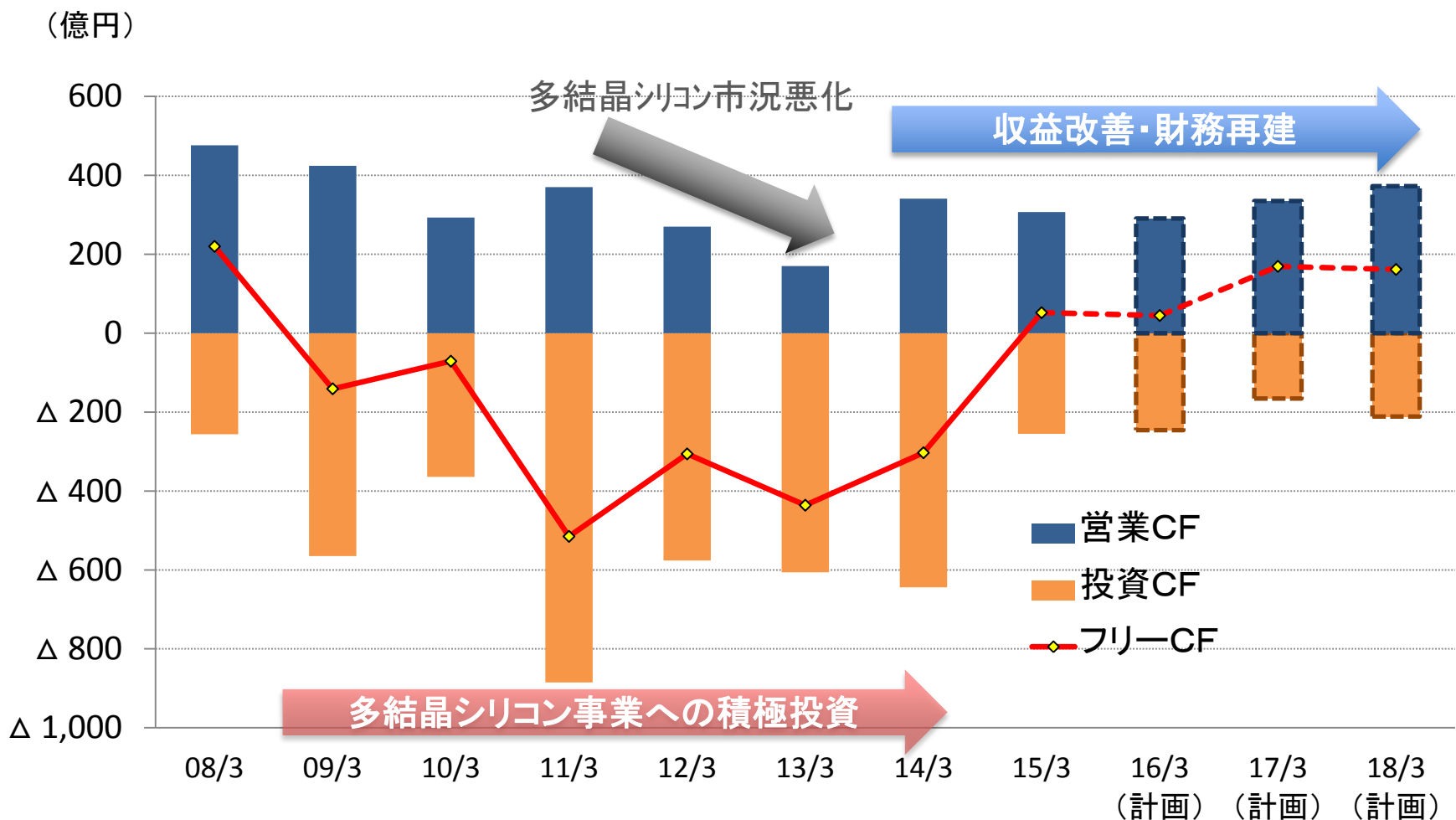
# 4. 財務基盤の再建

## (1) 財務再建計画

( 連 結 )



# 4. 財務基盤の再建 (2) キャッシュ・フロー計画 ( 連 結 )



設備投資(キャッシュ・フローベース)	250	150	200
減価償却費	230	230	230